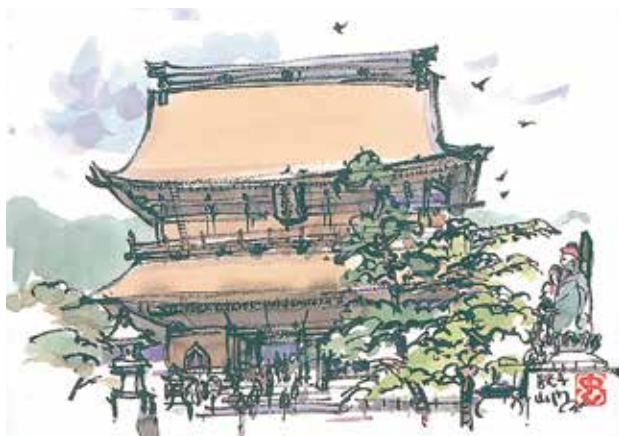


THE ROTARY CLUB OF NAGANO
長野ロータリークラブ

例会/毎週火曜日 12:30~13:30 ホテル国際21
事務局/長野市県町576 Tel.026-235-5493 Fax.026-235-4146

会長/中島克文 幹事/宮澤政徳 クラブ会報・雑誌委員長/堀江三定



善光寺山門 長澤忠信 画

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■司 会 : 和田敏希副SAA

■点 鐘 : 中島克文会長

■ソング : 「それでこそロータリー」

■小坂壮太郎さんご挨拶

12月10日、信濃毎日新聞社前社長で私の父である小坂健介が心不全で亡くなりました。88歳でした。最後まで長野ロータリーのメンバーであったことは大変幸せでした。皆様には仲良くして頂いて本当にありがとうございました。葬儀は家族葬で済ませ、2月にお別れ会を開かせて頂く予定です。本当にお世話になりました。

■黙 禱

小坂健介さんのご冥福をお祈りして

■会長挨拶 : 中島克文会長

会員の小坂健介さんが、12月10日にご逝去されました。長野ロータリーには1974年1月8日に入会され、会長も歴任されています。2012年には長野ロータリークラブ50周年の記念事業実行委員長をお務め頂き、クラブには多大なるご尽力を賜りました。心からお悔やみ申し上げます。

12月14日(火)のクリスマス・忘年会は、コロナの影響で昼間開催でしたが、無事にできたことに一安心しています。親睦活動・家族委員会の皆さんには本当にお礼申し上げます。そして沢山の方にご出席頂き、ありがとうございました。

今日は前回に引き続き、「アイデア勝負」の話を行います。明治40年当時、長野駅で立ち売りをを行う業者に対し、帝国鉄道庁の運輸部が発行した「命令書」の文面が祖父の著書に記録されています。業者として許可をするにあたり契約期間や守るべき事柄を記

載した、いわば契約承認の文書ですが、「命令書」とある点に当時の関係が見て取れます。その文書によりますと、「8月から翌年3月までの8ヶ月間、営業許可に際し、1ヶ月2円50銭の営業料の4ヶ月分を8月末までに、残り4ヶ月分を11月末までに納付せらるべし」とあります。また、営業使用人については、年齢16歳以上の男子にして、清潔なる一定の被服を着用するものとし、その人員は2名限り、高声を発して呼び売りをしたり、乗客に押し売りをしたりしてはいけません。販売品の価格については、市中一般の平均価格を超過すべからず。」と指示されていました。販売品目については、「弁当、鮓、菓子、果物、玉子、茶、氷、ラムネ」の種類に限るとされていました。明治41年2月10日、先代の中島太郎吉がサンドイッチの販売を提案、申請したところ、直ちに却下されたとの記録があることから、商品に駅側の意向が色濃く反映されていたことが伺えます。他に却下されたものは、鯉こく、鯉飯がありました。その一方で、弁当業者側は売り上げを伸ばすために積極的に商品企画を提案していました。ナカジマで



昭和11年当時の当社と駅立売販売員



お茶漬茶漬



は明治43年に、10月から4月の季節商品として茶碗蒸しを販売しました。明治末期から大正初期には、「陶器入り木製蓋付き弁当」と、「五目寿司」を販売しました。この頃には、立ち売り弁当の業界ができていて、各地で商品アイデアを競う傾向があったようです。駅弁の種類が豊富なのはこの時代からの伝統で、駅弁は日本の伝統文化と言ってもいいのかもしれない。大正13年頃にはナカジマが発売した「お茶漬け弁当」が業界で評価されたと祖父は記載しています。折箱にご飯と香の物が入り、その上にのせた急須代わりのオリジナル容器に熱いお湯を注いで販売するもので、お茶漬けとして食べられるよう、茶碗付きでした。昭和3年から14年には正月限定でお雑煮を販売し、長野の名物として評判になったようです。製造が間に合わず、出入りの大工や商人にも応援を頼んで製造したと書かれています。志賀高原などスキー場が開発され、スキー客が訪れるようになった昭和9年頃には「スキー汁」と名付けた豚汁を販売しました。これも人気を博したそうです。

■退会会員ご挨拶

櫻井謙二さん(株式会社ゆうちょ銀行長野支店長)多くの皆様大変良くして頂き、お世話になりました。本当に残念ですが、致し方ないと判断致しました。今後の皆様の健康と益々のご発展を祈念しております。ありがとうございました。

■表彰：中島克文会長

米山奨学会寄付

- ・青木保都さん…米山功労者11回目メジャードナー
- ・滝沢捷司さん…米山功労者6回目マルチプルロータリー財団寄付
- ・滝沢捷司さん…マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 7回目
- ・宮澤政徳さん…マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2回目

■幹事報告：宮澤政徳幹事

ロータリー文庫のデジタル化済み資料を、今年度から順次廃棄していきます。これはリアルな図書館から順次電子図書館に移行していくという取り組みで、各地区のガバナー月信やクラブ誌、年次報告書、大会報告書も、順次デジタル化に移行した後に廃棄処分していきます。廃棄する前に、地区の資料やクラブ誌等々必要な方は、幹事か事務局の高野さん宛にお申し付け下さい。

■親睦活動・家族委員会：澁谷泰広委員長

先日は、クリスマス忘年会に多数の方々にご参加頂き、ありがとうございました。来月1月11日に新年初例会を、ここホテル国際21で開催致しますので

よろしくお願いします。

■出席報告 : 山崎和之委員長

- ・本日の出席人員 63名 ・無断欠席者数 5名
- ・出席率 54.3% ・前々回訂正出席率 85.3%

■ニコニコBOX委員会 : 森公平委員

- ・お祝い会員…5名 ・早退ほか…1名
-
- 合計 25,500円 累計 1,217,500円

■会員卓話 : オリックス株式会社

長野支店長 辻 秀 樹 さん

「自己紹介

(オリックス・バッファローズ優勝しました!)

私は兵庫県神戸市灘区で生まれ、幼稚園に入る前くらいに西宮に引っ越したので私の記憶の中では故郷は西宮です。今回の卓話にあたり、西宮で過ごした写真を見てみましたが、今年は40歳の節目の年になり、月日が経つのは早いなあと感じます。家族は妻と長男の3人家族です。時代小説を読むのが好きで、特に司馬遼太郎さんが好きで何度も繰り返し読んでいます。野球とサッカーが好きで学生時代もやっていましたが、最近は専ら見るだけです。中学・高校の修学旅行で長野に来ていて、志賀高原にスキーの合宿に来たのが長野との初めての接点でした。私は小学1年から高校3年までサッカー部に所属していました。非常に下手くそで、小学3年生くらいがピークで、その頃までは「うまいなあ」と言われることもたまにはあったのですが、根性だけで続けていました。小さい頃から、今この国の人は何をしているのかなあとと思いながら地球儀を眺めるのが好きな子ども



もでした。大学3年を終えて1年間留学し、ロンドンで過ごしました。60~70年代の洋楽を聴くのが好きで、ビートルズも好きだったので、英語圏のロンドンに行きました。故郷の兵庫県は、人口が約540万人で日本で7番目に多く、その中で西宮市の人口は48万人です。兵庫県は意外と面積も大きく、東は大阪・京都に接していて、西は鳥取・岡山と4県に隣接しています。北は日本海に面し、南は瀬戸内海、淡路島を通じて太平洋へも続いています。大都市圏から農山村、離島まで様々な地域で構成されていて、但馬エリア、丹波エリア、播磨エリア、淡路エリア、私が過ごした摂津エリアと5つのエリアに分けて紹介されます。西宮は、南は大阪湾に接し、北は六甲山、南北に細長い町です。大阪と神戸のほぼ中間に位置し、それぞれ電車で15分くらいという非常に便利な場所です。西宮市といえば、かつてはプロ野球の2球団の本拠地がありました。1つは阪神タイガース、もう1つは阪急ブレーブスという球団があり、西宮スタジアムという球場があり、私も小さい頃から両球団、両球場ともよく親と行きました。この阪急ブレーブスが、私が勤務しているオリックスバッファローズの前身です。また、長野市にもある西宮神社の総本社が西宮にあります。毎年「福男選び」で、新年1月10日のお祭りのあとに開門されて、皆でスタートして走って本堂に一番に着いた人が福男というイベントをやっています。日本酒も非常に有名で、小中学校の社会科見学では酒蔵を見学して歴史を学びます。西宮には「灘五郷」の中の「西宮郷」と「今津郷」があります。西宮における酒造りは非常に歴史が古く、既に室町時代には「西宮のうま酒」として知られていたようです。灘の酒がその知名度を上げたのは、江戸に向けて上方からの海上輸送が頻繁になった江戸時代中期です。灘は海岸に面していたので輸送に非常に有利で、「樽廻船」という船に大量の酒を詰め込んで江戸の市中へと送り込んだそうです。関西のお酒は当時非常に人気があったようで、「くんだり酒」と言われていたそうです。また、野坂昭如さんの「火垂るの墓」でも神戸と西宮が舞台になっています。主人公の清太と節子が遠い親戚のところにと身を寄せて、うまいかず家を出て、池のほとりの防空壕で過ごしましたが、それが西宮の満池谷という所です。村上春樹さんも、生まれは京都ですが過ごされたのは兵庫県で、西宮や芦屋で小中高と過ごされ、故郷とおっしゃっています。周りに西宮出身の方がもしいたら聞いて頂きたいのですが、西宮市立の小中学校では、学校の運動会とは別にもう1つ運動会があり、地域の運動会なのですが、それを甲子園球場でやっています。20校くらいの学校がリレーで競争したり、みんなで踊ったり、客席で各校にエールを送り合ったり、小さい頃から甲子園球場は西宮市民にとって非常に馴染みがあり



物園と遊戯施設が増設され、昭和10年には阪神水族館ができ、東洋一の規模を誇った、ペンギンが48羽もいた水族館でした。しかし戦争で閉園し、2代目も阪神淡路大震災の液状化の被害がひどく、徐々に入園数が減ってきて、動物も減ってきて、空いてきたスペースにだんだん住宅展示場が建設されてきて、最後の方は謎の現象が起っていました。最終的にはUSJの開業もあり、閉園となりました。現在跡地はららぽーと甲子園という商業施設ができ、キッザニアという色々な職業が体験できる施設になっていて、今でも子どもで賑わっています。

今年パリーグはオリックス バファローズが優勝しました。1996年以来25年振りの優勝で非常に嬉しいです。オリックスは、1988年に阪急ブレーブスから球団を譲り受け、オリックスブレーブスという名前で誕生しました。1991年にオリックスブルーウェーブに名前を変え、この年の田口やイチローが入団して神戸を本拠地にしていました。この4年後、阪神大震災の年に「頑張ろう神戸」という合言葉で、阪急ブレーブスの時から数えて11年ぶりにパリーグを優勝して、翌年リーグ2連覇して初の日本一に輝きました。2005年に近鉄バファローズがなくなるという話があり、オリックスブルーウェーブと球団を統合するという球界を騒がせる事件でした。このタイミングでオリックスバファローズに名前を変えて現在に至っています。チーム自体は平均年齢25才という若手主体の非常にフレッシュなチームです。オリックスバファローズの正式な球団名は、実はオリックスバファローズです。応援して頂けると嬉しいです。



ます。遊園地も、宝塚ファミリーランド、ポートピアランド、エクスポランドなど沢山ありましたが、私が特に身近だったのは「阪神パーク」で、数え切れないほど行きました。昭和25年に開園した、阪神タイガースと共に阪神電鉄が経営するランドマーク的な遊園地です。特に思い出深いのはゴーカートと銀河鉄道モノレールで、園の名所をぐるっと周りながら次は何に乗ろうか考えながら、一番初めに乗っていました。遊園地と動物園が混在していて、動物も好きでしたがサイのオブジェが非常に好きでした。ライオンとヒョウを掛け合わせた「レオポン」という、ここにしかない珍獣もいました。夏はプールもあり、当時は阪神エリアでは最大規模でとても賑わいました。スケートリンクもあって、冬はスケートばかりしていました。当時私が行っていた阪神パークは2代目で、初代は昭和4年に甲子園娯楽場として開園し、海に迫り出す形で建設されていたそうです。昭和7年に「浜甲子園阪神パーク」と名前を変え、動